

 鴻巣市立箕田小学校 学校より 令和3年9月30日		学校教育目標	
		感動し 共に喜びあえる児童の育成	
		児童数 男子 158名 女子 153名 合計 311名	校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です



## 箕田小 大先輩の活躍 ～プロ野球 小島 和哉 投手～

校長 齋地 満

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉の通り、過ごしやすい天候となり、秋を感じられるようになりました。緊急事態宣言が解除されるとの報道を受け、教育活動を1学期と同様に進めていこうと考えています。運動会の練習も少しずつ始まり、子どもたちの元気で楽しそうな姿を見ることができます。引き続き子どもたちの安全・安心を最優先としつつ、スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋を体感できるように、取り組んでいきます。

さて、10月を迎え、プロ野球シーズンも佳境に入ってきました。リーグでは、現在千葉ロッテマリーンズが、首位に立っています。そして、優勝への原動力となっているのが、本校の卒業生 小島 和哉（おじまかずや）選手です。小島選手は、箕田小学校を2009年3月に卒業しました。りんどうスポーツ少年団から野球を始め、中学校では行田シニアでプレイします。その後浦和学院高等学校へ進学すると1年生からベンチ入りし、夏の甲子園（全国高等学校野球選手権大会）でピッチャーとして出場を果たします。2年生では、エースとして春の甲子園（選抜高等学校野球大会）に出場し、並みいる強豪校を破って優勝に輝きます。早稲田大学でもエースとして全国制覇を果たすとともに日本代表でも活躍し、千葉ロッテマリーンズに入団、現在3年目となります。背番号は「43」、左投左打のサウスポーです。



（千葉ロッテマリーンズ公式）

学力向上支援員の長谷川先生によると、小学校当時の小島選手は、元気で明るくユーモアがあり、多くの友達から野球がとてもうまいと認められ、「俺、プロ野球選手になるから、サインをあげるよ」と笑顔で言われたこともあったそうです。卒業文集には、野球の県大会で惜敗したくやしさとともに、ベスト8になった喜びと感謝の気持ちが綴られており、当然のごとく「夢はプロ野球選手」と書かれていました。とてもきれいな字で丁寧に書かれており、文武両道の姿が浮かびました。また、インタビュー記事によると、小2から野球と同時に始めた水泳（バタフライ）でも素晴らしい記録を出したそうです。水泳の経験は、心肺機能を高め、肩関節の可動域を大きくするなど、現在のしなやかに腕を振り切って、強く投げ込む投球につながったそうです。

今シーズンは、ローテーションの柱として自己最多となる9勝を収め、チームトップの成績をあげるなど、エース級の活躍です。特に、初完封勝利（相手打線を無失点で抑えること）のゲームでは雄叫びを上げるなど気迫のこもったピッチングを見せてくれました。弱気にならぬよう、帽子のつば裏には「強気に攻めろ！」と書き入れ、ゲーム中に時々覗いているそうです。

今後も小島選手の活躍から目が離せません。箕田小学校の大先輩へ応援をよろしくお願いします。（協力：千葉ロッテマリーンズ 参考：日刊スポーツ ロッテ小島の基礎作った水泳/プロに聞く）

個人面談にお越しいただきありがとうございました。学校生活で頑張っている様子や学習などを確認し合う有意義な時間となりました。その中で話し合ったことを生かし、学校と家庭と一緒に子どもたちの成長を温かく見守っていきたいと思います。また、学校生活のことで何かご相談事がありましたら、いつでも遠慮なく担任等にお知らせください。

## 学力・学習状況調査（全国・埼玉県）の結果について

一学期に実施した学力・学習状況調査（全国・6年生、埼玉県・4～6年生）の結果が公表されました。調査結果の個人票を、連絡封筒に入れて10月4日(月)に持ち帰ります。

埼玉県学力・学習状況調査の調査結果の個人票には、次の4点が書かれています。

- ①お子さんの教科に関する調査結果「学力のレベル」がわかります。
- ②5・6年生は、過去の結果と比べた「学力の伸び」を確認することもできます。
- ③学習の基盤となる「規律ある態度」の達成状況がわかります。
- ④学習に関するアドバイスも書かれています。

お子さんと一緒にご覧になり、お子さんのよかったところや伸びたところをほめてください。また、今回の結果を参考にして、県のホームページの「復習シート」を活用して、さらに自分の力を高めていきましょう。（右のQRコードからアクセスできます。）



県との正答率の差は、国語も算数も10%で正答数3題の差になります。10%高かったら県平均よりも3題多く正答したことになり、低かったら正答が3題少なかったことになります。

6年生は、全国学力・学習状況調査の調査結果の個人票も同時に配付します。全国学力・学習状況調査の場合は、平均正答数で比較されているので、全国平均正答数と自分の正答数の比較が分かりやすくなっています。

なお、個人票は家庭で保管・活用いただき、連絡封筒のみ10月5日(火)に学校へお戻しく下さい。

### ◎児童一人一人の学力（調査結果）に合わせた取組を積み重ねることが必要です！！

基礎基本の定着のために	より一歩上をめざして（活用する力の向上）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の確実な実施</li> <li>・繰り返し学習（四則計算・漢字）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の充実（家庭学習プリントや家庭学習強化週間の活用促進）</li> <li>・知的好奇心を育てる体験や会話</li> </ul>
<b>確かな学力の土台となるもの</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた学習環境づくり（学級と家庭の両方で）</li> <li>・学習用具を忘れない</li> <li>・家庭での読書や学習時間の習慣化</li> </ul>	



## 11月1日は「彩の国教育の日」

## お知らせ

県では、教育に関する理解を深めていただくため、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

例年、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、学校公開や親子向け体験教室などの事業を多数実施していますが、今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くの事業が自粛されています。このような状況だからこそ、身近な人と「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さや思い出について語り合ってみませんか。ほっこりした話題で、元気で明るい気持ちになる教育週間にしましょう。

詳しくは県ホームページを御覧ください。

彩の国教育の日

検索



問合せ：鴻巣市教育委員会学校支援課(TEL 048-544-1214)

：埼玉県教育局生涯学習推進課(TEL 048-830-6972)



彩の国教育の日

▲シンボルマーク